

黒龍江省で開通した「哈綏俄亜」陸海複合一貫輸送ルート及び 黒龍江省口岸の出入国者数の状況

黒龍江省商務庁国際経貿関係処長
姜鵬

黒龍江省は中国の東北地域にあって北東アジア地域の重要な地域に位置しており、北と東は黒龍江とウスリー川をはさんでロシアとの国境に面している。また、西は内モンゴル自治区、南は吉林省に隣接している。黒龍江省の面積は 45.3 万平方キロメートルで、全国土面積の 4.9% を占めており、全国で 6 位、人口は 3835 万人である。黒龍江省は中国で最も早く開発された地域の一つであり、悠久の歴史・文化をもち、広大な土地資源や、鉱業基盤が固いという特徴から、開放においても有意な立場にあり、また、中国の重要な商品農産物や食糧生産基地であると同時に、グリーン食品の産業基地、重工業部門の設備産業における製造やエネルギー・原材料の生産基地であった。

2013 年、習近平総書記は「一帯一路」発展戦略を提唱し、黒龍江省は「中モ露経済回廊」国家戦略計画に名を連ねることとなった。「哈綏俄亜」陸海複合一貫輸送大ルートは、「中モ露経済回廊」の重要な構成要素として、ハルビンを貨物輸送の起点とし、東には綏芬河口岸を経て、ロシアのウラジオストク、ポストーチヌイなどの極東の港湾に到着し、極東の港で船に積み込まれ、韓国、日本、東南アジア、北米などの世界主要港湾および中国の華東、華南など経済発展地域に運ばれる。西には、哈欧班列に連結され、モスクワ、ハンブルクなど、ヨーロッパ方面に向かい、ユーラシアのコネクティビティを実現するものである。綏芬河は「哈綏俄亜」陸海複合一貫輸送大ルートの重要な結節点とハブ口岸であり、「中モ露経済回廊」の建設の中で、重要な役割を果たしている。そして、それは、黒龍江省内で最も利便性の高い「海への出口」である。

2015 年 8 月 5 日、144TEU の中国製品を積んだコンテナ第一弾がハルビン国際コンテナセンターを出発し、綏芬河口岸を経てロシアのポストーチヌイに到着し、船に積み替えられて海路で韓国釜山港に到着し、陸海複合一貫輸送のテストに成功した。

2016 年、「哈綏俄亜」越境輸送班列が定期運行を実現し、貨物はハルビンから綏芬河、ロシア極東の港湾を経て、韓国の釜山港、日本の新潟港と中国国内の上海・寧波など 15 の荷揚げ港に到着し、「東出西聯、南下北上」（東から出て、西にたどり着く、あるいは南から出たものが北に到着するという意）の戦略的ルートを構築した。2018 年末、ハルビン—牡丹江高速鉄道の正式運行と 2020 年綏芬河—東寧空港の竣工に伴い、物流の集積や流動性は日に日に改善されてきており、立体化国際口岸としての物流ターミナルの構造を形成するだろう。

[ERINA にて翻訳]